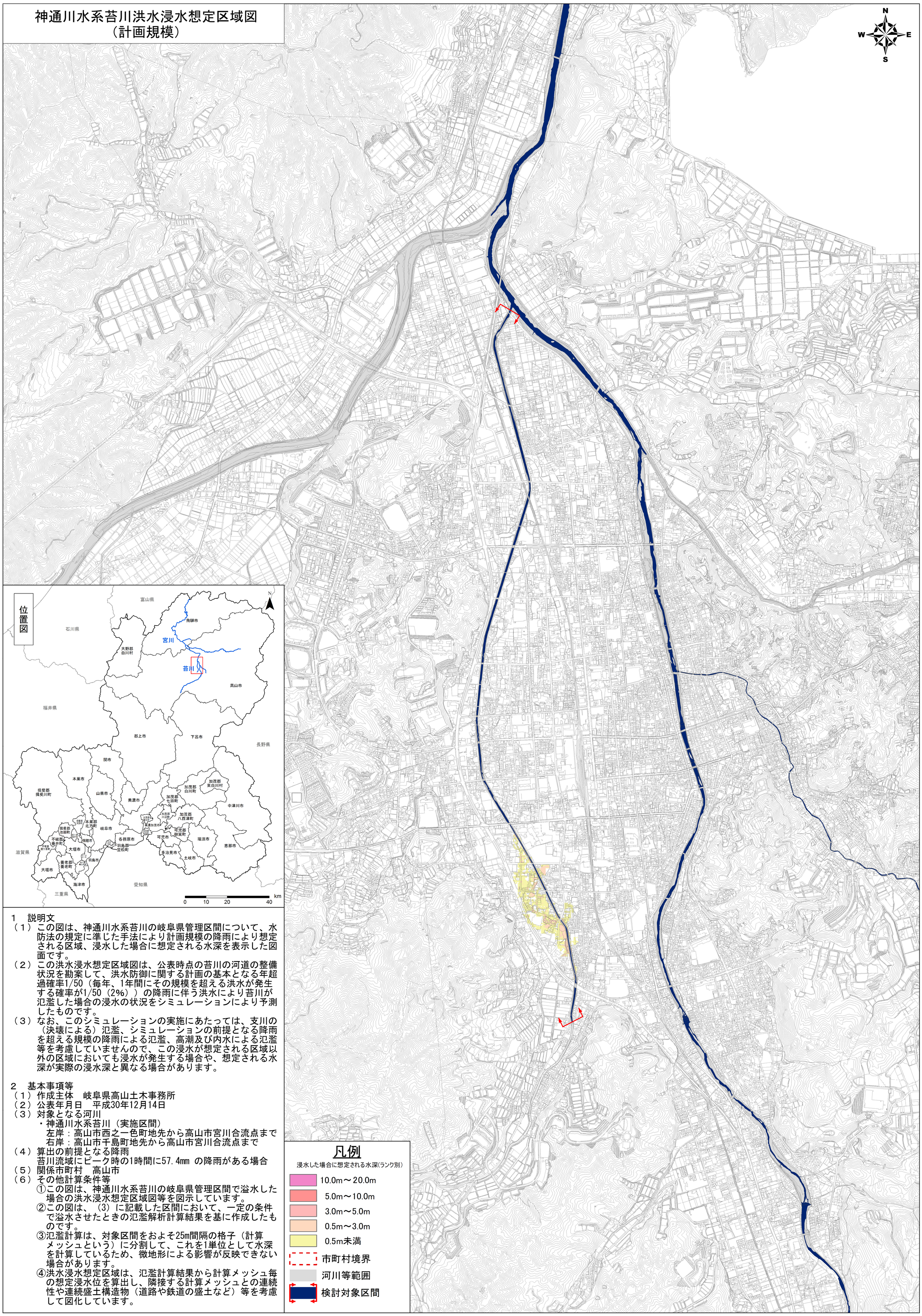
神通川水系苔川洪水浸水想定区域図
（計画規模）



1　説明文

（1）この図は、神通川水系苔川の岐阜県管理区間について、水防法の規定に準じた手法により計画規模の降雨により想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域図は、公表時点の苔川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））の降雨に伴う洪水により苔川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　岐阜県高山土木事務所

（2）公表年月日　平成30年12月14日

（3）対象となる河川

・神通川水系苔川（実施区間）

左岸：高山市西之一色町地先から高山市宮川合流点まで

右岸：高山市千島町地先から高山市宮川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨

苔川流域にピーク時の1時間に57.4mm の降雨がある場合

（5）関係市町村　高山市

（6）その他計算条件等

①この図は、神通川水系苔川の岐阜県管理区間で溢水した場合の洪水浸水想定区域図等を図示しています。

②この図は、（3）に記載した区間において、一定の条件で溢水させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

S = 1:10000　　0　500　1,000　1,500　2,000 m

注）　この図面は岐阜県共有空間データを使用しています。

岐阜県高山土木事務所